



毎月第3日曜日は
家庭の日です

この日は一家団らんで家族揃って家庭でくつろぎ、青少年の考えや、悩みを聞いて、明るい、家庭をつくり子ども達が健康で明るく育つようにつとめましょう。

町の人口

(5月1日現在)

総人口	9,016人
男子	4,200人
女子	4,816人
世帯数	2,586世帯

いつまでも お元気でネ

このほど、市場保育園（園長立花全兵衛氏）園児60名では、恒例の老人ホームを慰問しました。園児達は毎年訪づれていますが、老人たちは、チューリップや、ペンギンさんの踊りに老顔をほころばせ、拍手をおくっていました。

〔市場保育園の老人ホーム慰問〕

町の米生産調整目標達成なる

赤池町の米の生産調整については農家の皆様の理解と協力により、県から指示された目標減反面積に達成致しました。

町の米生産調整目標数量
七八、五トン

目標面積

一九、四ヘクタール

減反比率

七、一%

以上が県より示された赤池町の調整目標であります。

赤池町としては米生産調整推進協議会を設置してその調整方法等について慎重に協議

農家よりの自主申出を執ることとなりその結果、二三、五ヘクタール、目標面積に対し

一二・一%となっております。

調整による転作、休耕の内訳は次の通りです。

他作物への転作 六〇%

休耕四〇%

米の生産調整には転作を

米の生産調整には転作を

国は本年度最大の課題となつた米の生産調整は米過剰の爲め、わが国総合農政推進上緊急やむを得ぬ措置としてその対策を打出したわけであり

ます。
とりわけ水稻の作付を休止することは農家経済に多大な影響を及ぼすものであり米以外の野菜、果樹、雑穀等他作物の転作を考へたいのであり

ます。
大豆
農林省は、転換作物として「大豆、ソバは、いくら作っても生産過剰の心配はありません」と宣言しています。

大豆は国が決める基準価格があるので他の豆類と違い、相場の変動がありませんので安心して作れる作物と云へます。

(土地条件)

1 排水の良好なところを選ぶこと大豆は土壌水分に対する抵抗性は強い、排水不良及び過湿の場合は立枯病などの病害が発生し易い。

2 梅雨期、秋雨期など滞水しないところを選ぶ。

3 各種土壌に栽培出来るが肥沃地では茎葉繁茂し結実不良となるから施肥に注意する。

4 連作をさげ一、二年休作する。

助役に
榎原氏が再選

赤池町助役、榎原誠氏の任期満了に伴う選任について議案が三月定例町議会に提出され、榎原誠氏が満場一致で選ばれ、赤池町助役に再選されました。

△人事
固定資産評価審査委員会
委員 皆川正登（上野）
委員 八隅重信（市場）
人権擁護委員
委員 松井 猛（赤池）